

ゴールドマン・サックス
(ケイマン諸島)ユニット・トラストー
netWIN
GSテクノロジー
株式ファンド

ケイマン籍／オープン・エンド契約型外国投資信託
米ドルクラス／豪ドルクラス(為替ヘッジあり)

交付運用報告書

第6期
作成対象期間：2025年1月1日～2025年12月31日

第6期末		
純資産総額	604,533千米ドル	
1口当たり 純資産価格	米ドルクラス	19.51米ドル
	豪ドルクラス (為替ヘッジあり)	17.73豪ドル
第6期		
騰落率	米ドルクラス	16.48%
	豪ドルクラス (為替ヘッジあり)	14.76%
1口当たり 分配金額	米ドルクラス	該当事項は ありません。
	豪ドルクラス (為替ヘッジあり)	該当事項は ありません。

(注) 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。なお、ファンドは分配を行う予定はありません。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、ゴールドマン・サックス(ケイマン諸島)ユニット・トラストー netWIN GSテクノロジー株式ファンド(以下「ファンド」といいます。)は、このたび、第6期の決算を行いました。
ファンドは、「ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V.ー ゴールドマン・サックス米国テクノロジー・オポチュニティーズ・エクイティ・ポートフォリオ」(以下「マスター・ファンド」といいます。)への投資を通じて、主として米国のテクノロジー関連企業の大型および中型株式に投資することにより、長期的な投資元本の成長をめざします。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(www.gsam.co.jp)にて電磁的方法により提供しています。

ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により書面で交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

代行協会
ゴールドマン・サックス・アセット・
マネジメント株式会社

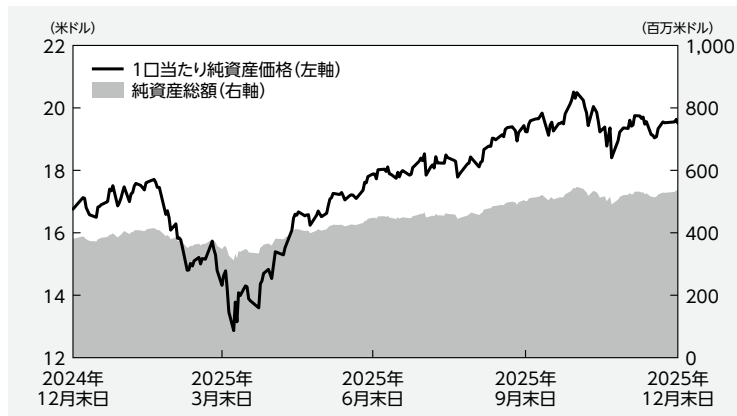
投資顧問会社
ゴールドマン・サックス・アセット・
マネジメント・エル・ピー

管理会社
シーエス(ケイマン)リミテッド

運用経過

当期の1口当たり純資産価格等の推移について

■米ドルクラス



第5期末の1口当たり純資産価格

16.75米ドル

第6期末の1口当たり純資産価格

19.51米ドル
(分配金額: 該当事項はありません。)

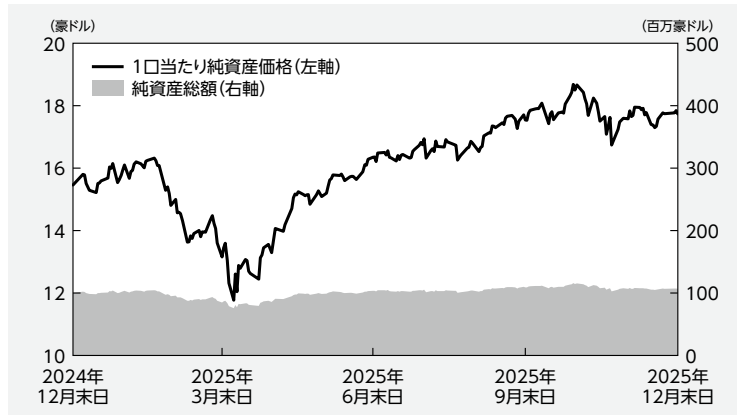
騰落率

16.48%

(注1) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注2) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

■豪ドルクラス(為替ヘッジあり)



第5期末の1口当たり純資産価格

15.45豪ドル

第6期末の1口当たり純資産価格

17.73豪ドル
(分配金額: 該当事項はありません。)

騰落率

14.76%

●1口当たり純資産価格の主な変動要因

上昇要因

アルファベットやエヌビディアなどの株価が保有期間中に上昇したことが上昇要因となりました。

下落要因

マーベル・テクノロジーやアップルなどの株価が保有期間中に下落したことが下落要因となりました。

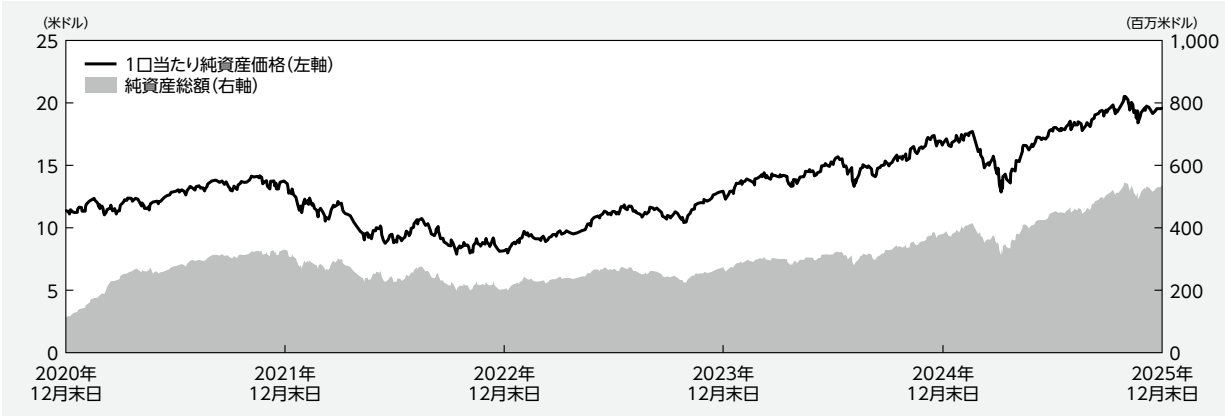
費用の明細

項 目	項目の概要	
管 理 報 酬	年間37,500米ドルの固定報酬および年間17,250米ドルを上限とした変動報酬	ファンドの運営管理全般の業務に対する対価
投 資 顧 問 報 酬	ファンドの純資産総額の0.80%(年率)	ファンドの運用、リスク管理等の業務に対する対価
販 売 会 社 報 酬	ファンドの純資産総額の0.80%(年率)	ファンドの販売・買戻しの取扱い、受益者への通知等の業務に対する対価
代行協会員報酬	ファンドの純資産総額の0.03%(年率)	目論見書等の配布、純資産価格の公表等の業務に対する対価
受益者サービス報酬	ファンドの純資産総額の0.05%(年率)または年間20,000米ドルのいずれか低い方を上限とします。	ファンドの販売・買戻し受付業務支援等の業務に対する対価
その他の費用(当期)	0.06%	受託報酬、管理事務代行および保管報酬、登録・名義書換事務代行報酬、設立費用、監査費用、弁護士費用、印刷費用、有価証券売買時の売買委託手数料、保管費用等の実費 ファンドが投資するマスター・ファンドの投資証券に関して、運用報酬または販売手数料は課されません。マスター・ファンドの運営費用は、原則としてマスター・ファンドの資産から支払われるため、ファンドは、マスター・ファンドの投資者として、当該費用を比例按分で負担します。

(注)各報酬については、目論見書に定められている料率を記しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

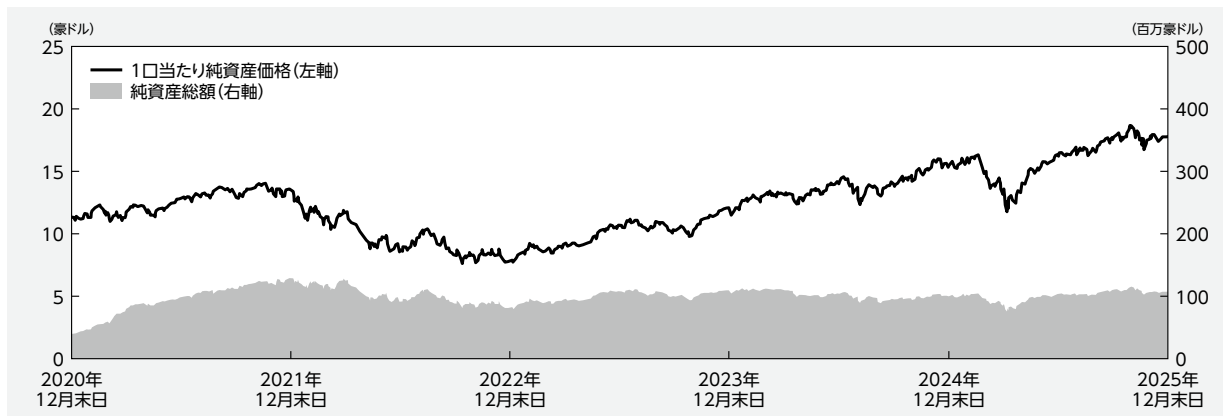
■米ドルクラス



	第1期末 2020年 12月末日	第2期末 2021年 12月末日	第3期末 2022年 12月末日	第4期末 2023年 12月末日	第5期末 2024年 12月末日	第6期末 2025年 12月末日
1口当たり純資産価格(米ドル)	11.34	13.73	8.16	12.92	16.75	19.51
1口当たり分配金額 (米ドル)	—	該当事項はありません。				
騰落率 (%)	—	21.08	−40.57	58.33	29.64	16.48
純資産総額 (千米ドル)	116,274	331,789	203,080	273,245	380,129	533,396

(注) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

■豪ドルクラス(為替ヘッジあり)



	第1期末 2020年 12月末日	第2期末 2021年 12月末日	第3期末 2022年 12月末日	第4期末 2023年 12月末日	第5期末 2024年 12月末日	第6期末 2025年 12月末日
1口当たり純資産価格(豪ドル)	11.31	13.58	7.78	12.09	15.45	17.73
1口当たり分配金額 (豪ドル)	—	該当事項はありません。				
騰落率 (%)	—	20.07	−42.71	55.40	27.79	14.76
純資産総額 (千豪ドル)	40,041	130,611	81,255	109,545	99,786	106,676

投資環境について

4月上旬に米トランプ政権によって、市場想定を上回る強硬な相互関税率が発表されると、世界経済悪化懸念や企業業績の見通し不透明感の高まりなどから、株式市場は一時大幅調整となりました。しかし、その後は、相互関税の一時的な延期や、各国との関税交渉の進展などが好感され過度な警戒感が後退すると、株式市場は相互関税発表前の株価水準を回復しました。米政府機関の一部閉鎖や、米中貿易摩擦懸念などが株式市場の重しとなったものの、活況なAI関連のインフラ投資の継続を背景に、米国株式市場は底堅い動きとなりました。一方で、AI関連銘柄などのハイテク株に対し、バリュエーションの割高感や、AIの進化によって企業の既存業務が代替されるリスクなどが市場で注目され、米ハイテク関連銘柄を中心に株価が軟調に推移しました。期末にかけては、米国とイスラエルによるイラン攻撃を背景に、原油価格の上昇やそれに伴う米国のスタグフレーション懸念が高まり、リスクオフムードとなりましたが、通期では米国株式市場は底堅い推移となりました。

ポートフォリオについて

当期間においては、アルファベット、エヌビディア、マイクロンテクノロジーなどが本ファンドのパフォーマンスにプラス寄与しました。グーグルが11月に発表した生成AIモデルの性能に対する評価が高く、競合する他社のAIモデルに対してリードを広げたとの見方から、アルファベットの株価は上昇しました。また、他社ハイパースケーラーがグーグル独自の半導体の導入に向け交渉しているとの報道も注目されました。

一方、マーベル・テクノロジー、アップル、セールスフォースなどは本ファンドのパフォーマンスにマイナス寄与となりました。中国企業が低コストでAIモデルを開発したとの報道を受け、AI関連の設備投資に対する中長期的な見通しに対する不透明感が高まったことで、半導体企業などAI関連銘柄を中心にボラティリティが高い相場展開となり、マーベル・テクノロジーの株価は軟調に推移しました。しかし、AI向けASIC(特定用途向け集積回路)の需要は堅調であり、また同社は複数のハイパースケーラーに対する製品提供を拡大していることから、投資顧問会社では引き続き強気の見方を維持します。

分配金について

該当事項はありません。

今後の運用方針

足元では、米政府による相互関税政策、中東情勢の緊迫化によるエネルギー価格上昇や、それに伴うスタグフレーション懸念、また、粘着的なインフレ動向など、先行き不透明感が残るボラティリティの高い市場環境が続いています。当面の間はこのような状況が続く可能性があるものの、企業業績への実質的な関税影響、もしくは企業の対応方針などが今後の株式市場の行方を左右すると考えられます。金融政策の観点からは、米国は金融緩和サイクルの中にあるものの、足元では、FRB(米連邦準備制度理事会)はインフレ再燃懸念や、堅調な米国の経済環境などを鑑み、政策金利の据え置きスタンスを取っています。AI自体は既に話題となっているテーマではあるものの、成長サイクルの面では依然として初期段階にあり、今後中長期的に企業業績や市場に影響を及ぼしうる息の長いテーマとみており、不透明な環境下においても底堅さを発揮できると考えます。

「よりよい投資収益は、長期にわたって成長性の高い事業へ投資することにより獲得される」との投資哲学のもと、個別銘柄の分析を重視したボトムアップ手法により銘柄選択を行いつつ、主にテクノロジーの発展により恩恵を受ける米国企業の株式に投資します。今後も引き続き投資方針に基づき運用を行います。

お知らせ

該当事項はありません。

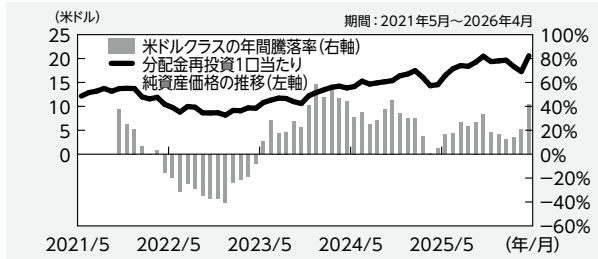
ファンドの概要

ファンド形態	ケイマン籍／オープン・エンド契約型外国投資信託	
信託期間	2030年10月31日まで。ただし、受託会社および管理会社は、投資顧問会社と協議の上、書面により宣言することをもって信託期間を延長する場合があります。また、下記「繰上償還」に記載の事由により早期に終了する場合を除きます。(信託設定日：2020年10月30日)	
繰上償還	以下の場合(ただし、これらに限りません。)、ファンドは終了します。 (a)永続期間(150年)満了の30日前 (b)ファンドのすべての受益証券が買い戻された場合 (c)ファンドに関する投資顧問契約が終了した場合(管理会社および投資顧問会社が別途合意した場合を除きます。) (d)後任の受託会社または管理会社が任命されることなく受託会社または管理会社が退任もしくは解任された場合 (e)ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナルが受託会社に対して書面で通知した場合 ファンドの純資産総額が1億米ドル(またはその他の通貨における相当額)を下回った場合、管理会社は、投資顧問会社と協議の上、当該時点で発行済みのファンド証券の全部を、当該ファンド証券が買い戻される取引日に計算される各クラスの受益証券1口当たり純資産価格で買い戻すことができます。この場合、少なくとも30日前までに受益者に対して通知が行われます。	
運用方針	ファンドは、「ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス米国テクノロジー・オポチュニティーズ・エクイティ・ポートフォリオ」(「マスター・ファンド」)への投資を通じて、主として米国のテクノロジー関連企業の大型および中型株式に投資することにより、長期的な投資元本の成長をめざします。	
主要投資対象	ファンド	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス米国テクノロジー・オポチュニティーズ・エクイティ・ポートフォリオ
	マスター・ファンド	米国籍または収益の主たる部分を米国から得ているテクノロジー関連企業の大型および中型株式ならびに／またはそのエクスポージャーを提供する株式関連の譲渡性証券ならびに許可されたファンド
ファンドの運用方法	ファンドは、マスター・ファンドへの投資を通じて、主として米国のテクノロジー関連企業の大型および中型株式に実質的に投資します。 マスター・ファンドのポートフォリオは、テクノロジーの活用により、コスト構造、収益性および／もしくは競争優位性の改善や維持が見込まれる企業、またはビジネス・モデルの継続性が期待できる企業の株式で構成されます。	
主な投資制限	●投資対象の購入、投資および追加の結果、ファンドの資産額の50%を超えて、金融商品取引法第2条第1項に規定される「有価証券」の定義に該当しない資産を構成する場合、かかる投資対象の購入、投資および追加は行わないものとします。 ●空売りされる証券の時価総額は、ファンドの純資産総額を超えないものとします。 ●ファンドの純資産総額の10%を超える借入れは行わないものとします。 ●ファンドおよび投資顧問会社が運用するすべての外国投資信託が保有する一発行会社の議決権の総数が50%を超えることになる場合、当該発行会社の株式への投資を行いません。ただし、この制限は投資法人への投資には適用しません。当該比率は取得時または時価により計算されます。 ●私募証券、非上場証券または不動産等、すぐに現金化できない流動性に欠ける資産に対しその純資産総額の15%を超えて投資を行いません。 ●ファンドは、日本証券業協会の規則に基づき、信用リスクを適正に管理する方法としてあらかじめ管理会社または投資顧問会社が定めた合理的な方法に反することとなる取引を行いません。ファンドは、一般社団法人資産運用業協会の規則の第17条の2の要件を満たす「分散型」ファンドに分類されるものとし、同規則の定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーのファンドの純資産総額に対する比率は、同規則にしたがうものとします。	
分配方針	分配を行う予定はありません。	

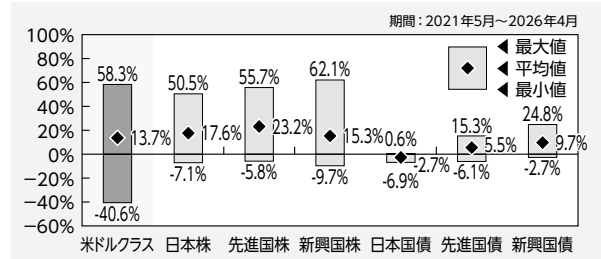
参考情報

ファンドの年間騰落率および 分配金再投資1口当たり純資産価格の推移

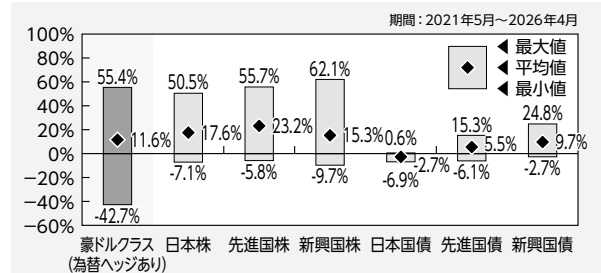
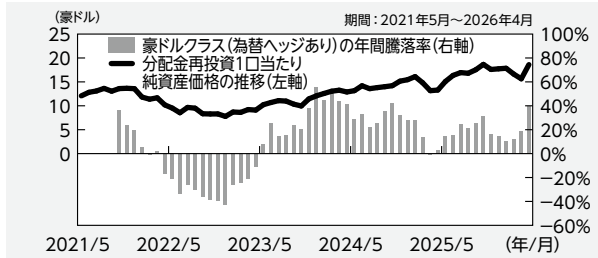
■米ドルクラス



ファンドと他の代表的な 資産クラスとの年間騰落率の比較



■豪ドルクラス(為替ヘッジあり)



- ファンドの設定日が2020年10月30日のため、左右グラフのファンドの騰落率については、設定1年後の2021年10月末以降のデータを表示しています。

- グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。
- すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- 上記のグラフは、過去5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。ファンドにはベンチマークはありません。

●各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

□ 東証株価指数(TOPIX)の指数値および東証株価指数(TOPIX)に係る標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。
 □ MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIインクに帰属します。MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者(以下総称して「MSCI当事者」といいます。)は、MSCIの情報について一切の保証(独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません。)を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害(逸失利益を含みます。)およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。 □ NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。 □ FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。 □ JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバルに関する著作権は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

ファンドの分配金再投資1口当たり純資産価格および年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した1口当たり純資産価格および当該1口当たり純資産価格の年間騰落率が記載されており、実際の1口当たり純資産価格および実際の1口当たり純資産価格に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

ファンドデータ

ファンドの組入資産の内容(第6期末現在)

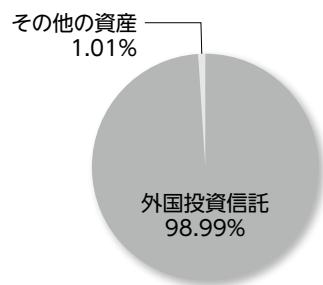
●組入上位資産

(組入銘柄数: 2銘柄)

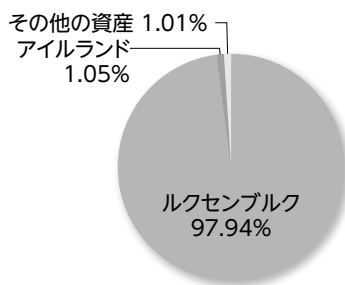
銘柄名		組入比率
1	Goldman Sachs US Technology Opportunities Equity Portfolio, Class IO (Acc.)	97.94%
2	Goldman Sachs PLC - US\$ Treasury Liquid Reserves Fund, Class X	1.05%

(注)組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下、円グラフについても同様です。

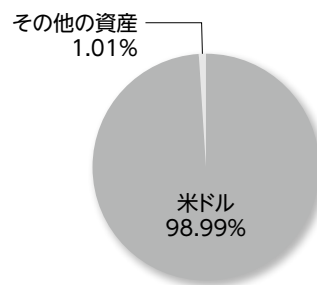
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

純資産等

第6期末		第6期			
項 目		クラス	販売口数	買戻口数	発行済口数
純資産総額	604,533,148米ドル	米ドルクラス	10,772,818.457 (10,772,818.457)	6,132,342.337 (6,132,342.337)	27,341,395.981 (27,341,395.981)
発行済口数	米ドルクラス 27,341,395.981口	豪ドルクラス (為替ヘッジあり)	740,238.263 (740,238.263)	1,180,951.029 (1,180,951.029)	6,017,180.868 (6,017,180.868)
	豪ドルクラス (為替ヘッジあり) 6,017,180.868口				
1口当たり 純資産価格	米ドルクラス 19.51米ドル				
	豪ドルクラス (為替ヘッジあり) 17.73豪ドル				

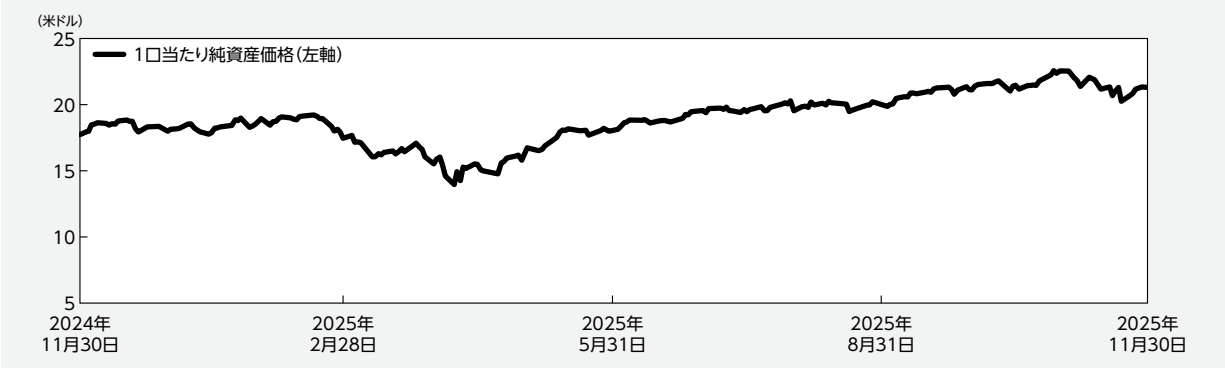
(注) () の数は本邦内における販売口数、買戻口数または発行済口数です。

マスター・ファンドの概要 (2024年12月1日～2025年11月30日)

ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス米国テクノロジー・オポチュニティーズ・エクイティ・ポートフォリオ ——

*マスター・ファンドの決算は、年1回(毎年11月末)です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2025年11月30日時点までの状況をご報告申し上げます。

●投資証券1口当たり純資産価格の推移

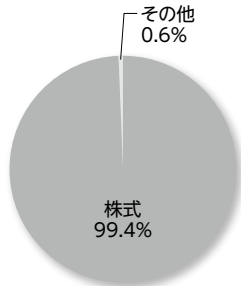


●費用明細 (単位: 米ドル)

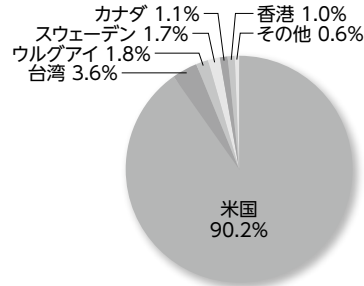
費用	
投資顧問報酬	1,361,733
保管報酬	69,324
管理事務代行報酬	165,286
販売報酬	6,136
名義書換事務代行報酬	50,850
年次税	96,890
専門家報酬	29,295
その他運営費用	214,484
費用合計	1,993,998

(注1)費用明細は本報告書作成時点で入手可能なマスター・ファンドの2024年12月1日から2025年11月30日までのものです。
(注2)費用明細は1口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券のすべてのクラスにかかった金額を表示しております。

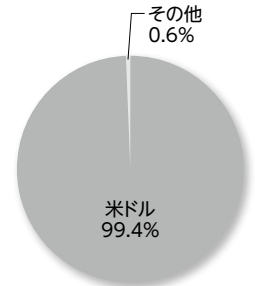
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1) 上記円グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100%にならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

●保有銘柄情報

(組入銘柄数: 37銘柄)

上位10銘柄		組入比率(%)
1	Alphabet, Inc. Class C	9.5%
2	NVIDIA Corp.	9.3%
3	Amazon.com, Inc.	7.8%
4	Microsoft Corp.	6.6%
5	Meta Platforms, Inc. Class A	5.9%
6	Broadcom, Inc.	4.9%
7	Apple, Inc.	4.2%
8	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd. ADR	3.6%
9	Lam Research Corp.	2.9%
10	Netflix, Inc.	2.6%

(2025年11月30日現在)

(注) 上記の比率はすべてマスター・ファンドの純資産総額に対する割合です。